The METRO REPORT
メトロ・ワールド・チャイルド
ニュースレター
2025年7月号
NEW YORK・INDIA・KENYA・PHILIPPINES・ROMANIA・SOUTH AFRICA・PERU・COLOMBIA・HAITI
メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン　東京都中央区銀座5-14-6 橋ビルⅡ 7F　TFC 内

ケニア・サマーキャンプ受付開始！

DAY CAMP

締め切りは8月27日(水)

ケニアの子どもたちにとって、キャンプは心待ちにしている特別なイベントです。しかし、ジェームズは他の子どもたちから聞いた話でしか、メトロのキャンプを知りませんでした。これまで一度も参加する機会がなかったからです。

そんなジェームズに、ある日スポンサーが、「一番ほしいものは何？」と尋ねました。彼は迷わず「メトロのキャンプに参加したい！」と答えました。それでスポンサーは、彼の夢を叶えるためにキャンプ費用を全額支援してくれました。

ジェームズは、今でもその日を「最高の日！」と言っています。

さまざまな楽しい遊具や活動、ゲーム、礼拝の時間は彼にとってかけがえのないものでした。そして、3回以上の食事をおなかいっぱい食べることができ、その上、お土産として家に持って帰る食料品まで受け取ったのです。彼にとって、それはまさに夢のような体験でした。

ケニアのキャンプは１日のデイキャンプですが、子どもたちは朝4時くらいから準備をして送迎場所に集まって来ます。待ち遠しくて、ワクワクして夜眠れない子どもたちもいます。

スタッフは、子どもたちが安心して、子どもらしく楽しく１日を過ごすことができるように、聖書のみ言葉をしっかり理解できるように、様々な工夫を凝らし準備をしています。

昨年は、本物の消防車や消防士たちまで出動して、大興奮！

彼らが、危険な中でも人々を救助する姿を通し、神様こそが、私たちを罪や苦しみ、恐れや不安から救い出してくださる本物の救い主だということを、体験的に学びました。

１件 14,800 円でどなたでも何件でもご支援いただけます。

ケニアの子どものスポンサーの方の場合は、１件目は、ご支援いただいている子どもに贈ります。ネットでお申し込みいただけます。詳細は同封の用紙をご覧ください。

常時スポンサー募集中！

お申込はこちらから⇒
https://metroworldchild.jp/apply-for-sponsor/

今月の引き落とし日！

７月28日(月)です。前日に残高をご確認ください！

今月号の目次

P2…メトロ・フィリピン訪問レポート
P3…ビル師からのメッセージ
P4…日本事務所から大切なお知らせ

【＊お願い】子どもの誕生日その他のご連絡、子どもからの手紙も同封しますので、必ず開封してご確認ください。

メトロ・フィリピンの訪問

スポンサーの喜安様からのレポートをいただきましたので、掲載させていただきます。

私は 2025 年２月にサポートをしているジョン君（仮名）に会いに、フィリピンを訪れました。その時の様子を皆様にシェアします。

メトロのスポンサーになって

私は、2017 年にビル・ウィルソン先生が来日され大阪で持たれた集会で、スポンサーになる決心をしました。最初にスポンサーとなったケン君（仮名）とは、メトロを通してプレゼントや手紙を送り、年に数回ケン君から手紙が届くことを楽しみにしていました。ケン君からの手紙にはその時の家族の様子や彼の好きなことが書かれており、「あなたのために祈っています」という言葉に何度も励まされました。

数年サポートをしていましたが、コロナ禍にケン君がメトロの教会学校が行われていない所へ引っ越しをしたため、残念ながらこれ以上彼をサポートすることができず、別の子をサポートすることになりました。この新しい子が、今回会いに行ったジョン君でした。

フィリピンメトロのオフィスを訪問

私の職場は２月に数日連休があるため、今回思い切ってフィリピンのメトロを訪問することを決心しました。ただ、ちょうどその週は、フィリピンのメトロでは教会学校を開催していない時期であったため、オフィスの訪問・ジョン君の家庭訪問・ジョン君が参加する教会学校スタッフと交流する時間を１日設けていただきました。

最初にスタッフのハンナさんとお会いし、オフィス内を案内していただきました。掛けられていたフィリピン国内の地図にはたくさんの印がつけられており、この印はローカルの協力教会によって教会学校が開催されているエリアだと伺いました。フィリピンメトロでは、メトロのスタッフが全ての教会学校を行うのではなく、協力教会のスタッフをトレーニングし、協力教会でもメトロの教会学校を開催しているそうです。倉庫には、これからメトロスタッフが協力教会へトレーニングする教会学校の教材が準備されていました。また、スポンサーの方から申し込まれた食料品等のプレゼントも、１つ１つバッグに詰められて棚に並んでいました。

案内していただいている途中で、ゴォォォ・・・という音が鳴り始めました。ハンナさんは、「ミーティングが始まるまで、エアコンをつけないんです。オフィス内では使わない電気も消しています。スポンサーの方たちからの献金を、少しでも子どもたちに使えるように」と話されていました。

フィリピンの社会問題

オフィスでスタッフの皆さんに挨拶をした後、スタッフのレオノールさんと一緒に家庭訪問に出発しました。車に乗る時に、食料品のプレゼントを積み込みました。道中では、私がフィリピン滞在中にスーパーへ行き、物価が高いと感じたこと（フィリピンは物価が安いイメージがありましたが、野菜やフルーツなど、日常的に食べるものがとても高かったのです…）を伝えました。フィリピンでは前々から物価が上昇しており、コロナ禍で更に上がったため、野菜の価格高騰は社会問題となっているそうです。持参するプレゼントにはお米や乾物、缶詰など、腐らずに日持ちするものが入っているということでした。

協力教会チームとの交流

ジョン君の通う教会学校は、オフィスから車で４０分ほど離れたところにあり、近くのマクドナルドで協力教会の牧師・牧師夫人・教会学校担当スタッフの方と合流しました。そこで食事をしながら教会学校の方たちからジョン君の様子を教えていただきました。

ジョン君は３人きょうだいの真ん中で、お兄さんと妹がいること、教会学校に毎回参加していること、そしてきょうだい３人が自閉症スペクトラムの診断を受けているということでした。ジョン君は同年齢の子と同じ学年ですが、お兄さんと妹は進級をすることができず、２歳下の年齢の子と一緒の学年で学校に通っているそうです。公立校では１クラスの子どもの人数が多く、特別な配慮を要する子への援助も十分に確保されていないため、進級できないことは決して珍しいケースではないということでした。そのため、今回家庭訪問をしても、子どもたちがどのような反応をするか分からないと事前説明がありました。

この後の家庭訪問その他の内容は、次号に掲載いたしますのでお楽しみに。

メトロ紹介ページ

ここが私たちの目的地ではありません。

——ビル・ウィルソン師 Facebook より

前回のご報告の後、非常に多くの方々からお電話をいただきました。ハン兄のためにお祈りとご心配をいただき、ありがとうございます。彼はこの2年間、本当に多くのことを経験してきました。

あの後、やっと彼から連絡がありました。彼の妹は、彼が死んでしまったと思っていたようですが、驚くべきことに、彼は、私が彼を移転させていたヨルダン川西岸の付近の病院にたどり着いていました。

イスラエル人のアンドリュー兄が、パレスチナ人のハン兄に付き添い、肩の傷の処置が終わるまで見届けました。ひどい感染症になってしまったようですが、もっとひどい状態になっていた可能性もあったようです。

私は、アンドリュー兄を通して、ハン兄に対して、思いやりと励ましを持ってやり取りをした後、この出来事の詳細を聞き出そうとしました。

リスクを承知でフードトラックを乗っ取り、キャンプに食料を運んで、屋外で日曜学校を開くという決断をしたことについて彼を問い詰め、ついに言葉が尽きました。

彼は、私が話し終えるまで、とても真摯に私の言うことを聞いていました。それから、かつての私のことを思い出したと言って、非常にゆっくりした口調で、「もしビル先生が彼の立場だったらどうしましたか？」と尋ねたのです。

自分の教え子から自分の間違いを指摘されるのは、本当に嫌な気分です。言うべき言葉は何もありませんでした。そして、この騒動の最中に一緒にいた友人は、もう一度日曜学校をやるつもりがあるかと病院で彼に尋ねたのです。正気の沙汰とは思えない？ でも、私は、彼らのような日曜学校の先生が 100 人いてくれたらいいのにと願います。

前回の投稿に対するたくさんの個人的な電話やメッセージには本当に驚きました。長年の知り合いだけでなく、私の本を読んだり、メトロのレポートを受け取ったり、Facebook でいつもフォローしてくれている人たちも、皆同じ気持ちのようです。率直な言葉や励ましの言葉が、私が想像していた以上にたくさんありました。

また、世界中で、実際に変化をもたらしている「どんなことでもする」人たちのことを知りたい、助けたい、そして感謝したいという人が増えているのを感じています。

長年メトロを支援してきたある男性は、多くのコメントを受けてこうコメントしました。「私が長年メトロと、あなたとあなたのチームを支援してきた理由をご存知ですか？ あなたとは 50 年近くの付き合いですが、キリストについて中途半端な説明をするのを一度も聞いたことがありません。それに、あなたとあなたのチームは、どんな言葉よりも雄弁に語る生きた実践者であることが明らかだからです。」

すると、長年の友人である牧師がこう付け加えました。「私たちの教会が長年メトロを支援してきたのは、あなたとあなたのスタッフたちが長年示してきたような熱意、一貫性、誠実さをこれほど長い間続けているミニストリーを、私や教会の責任者たちは見たことも聞いたこともありません。そして、あなたたちがいる世界のあらゆる場所で、自分自身で声を上げることができない人々のために、常に声を上げ続けてきてくれたからです。」

あるインフルエンサーは、サンフランシスコの最高級ホテルで開催された、「男性に対する話し方を学ぶ」という講演会に 2000 万ドルも費やすような政治家たちに対して、すぐに苦言を発信しました。彼女は今、ハン兄やギフト兄、そしてメトロのチームが世界中で毎週行ってきたこと、そして今も続けているようなことを決してしないような政治家に大金をつぎ込むのをやめて、メトロのスポンサーになるよう、もっと多くの人々に働きかけることを使命としています。本気です。（私じゃなく、彼女が言ったのです。）

世界中で扉が開かれ続けている今、私たちの戦いはまだ終わっていないことをご存知でしょう。私たちはまだ戦いの途中です。人と直接向き合い、耳を傾け、心と心で通じ合う活動を続けています。日曜学校に通う子どもたちの数が週 200 万人近くに迫っていますが、世界中に届くまで、私たちは戦い続けます。

ですから、ハン兄や他の多くの人々が私に思い出させてくれたように、私たちはただここを目指してやって来たのではありません！

決して十分と言えるところまで行けないことは分かっていますし、中には挑戦して命を落とす者もいるでしょう。私たちが旅を続けられるよう、支えてくださり、
ありがとうございます！

ビル・ウィルソン

日本事務所からの重要なお知らせとお願い

偽物に騙されないように！

ビル師の偽のＳＮＳがたくさん発生しています。最近では、偽の HP や見分けのつかないフェイク動画などもありますので、騙されて送金されないように、くれぐれもご注意ください。

ビル先生の Facebook は以下の一つだけです。
https://www.facebook.com/PastorBillWilson

ビル先生が、直接献金を依頼することはありません。個人的に連絡することや友達申請することもありません。ビル師からのメッセージを直接受け取った場合は、サイト責任者に報告し、ブロックしてください。

メトロの働きやビル先生へのご支援は、必ず日本事務所を通してお送りください。

スポンサー募集中！

メトロの働きは各国で急激に拡大し、サポートの必要な子どもの数は、飛躍的に増えています。**新規スポンサーを常時募集**していますので、よろしくお願いいたします。

政治不安や戦争で、貧困地域の状況は悪化し続けており、世界中の物価は急激に上昇しています。メトロの活動している地域では、以前から食事をまともに食べることができない子どもがたくさんいましたが、今はさらに深刻な状況です。私たちは、一人でも多くの子どもにスポンサーを見つけようと手を尽くしています。どうぞ、身近な方々にメトロをご紹介ください。

メトロ紹介＆申込サイト⇒
https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/

現在開催中のキャンペーン！

現在行っているキャンペーンは、ケニアのサマーキャンプです。食料品その他のご支援は常時受け付けています。

・ケニアのサマーキャンプ：8 月 27 日(水)締切

また、ご支援いただいています子どもの誕生日の前月には、お知らせの手紙を同封しますので、必ず開封して中をご確認ください。ご自身の状況に合わせてプレゼントをお考えいただければ幸いです。子どもの数は非常に多いので、早めにお申し込みいただければ助かります。

口座引落手続きをされている方は、翌月のお引き落としに加算することもできます。

お引落日は、お申し込み日の翌月です。
https://metroworldchild.jp/gift/

日本事務所よりごあいさつ！

私がインド伝道に出かけている最中に、西日本では梅雨明けしたようです。本格的な夏が始まりますが、躍動感ある元気な夏を過ごしていただきたいと願います。

メトロでは、加速する働きの拡大を牽引し、対応するために、あらゆる分野での戦いと挑戦が続いています。神様は、それぞれの国で、ユニークな形で扉を開き、働きを導いてくださっています。文字通り、どんなことでもする！という決意を持つ無名の献身者たちが、誰にも注目されなくても黙々と神の国の拡大のために、子どもたちの救いのために働きを進めているのです。

忠実なご支援と祈りによって、この働きを支えてくださる皆様に心から感謝申し上げます。

皆様の健康が守られ、主キリストからの圧倒的な恵みと祝福が現され、生き生きとした日々を送ることができますようにお祈りします。

日本事務所代表　万代栄嗣(まんだい えいじ)

メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061
東京都中央区銀座5-14-6
橋ビルⅡ7階 ＴＦＣ内
電　話 03-6264-7370（松山事務所 089-992-9020）
ＦＡＸ 089-925-1501
メール metrojapan@mission.or.jp
URL　https://metroworldchild.jp/

すべてのお振り込みは、下記宛にお願いいたします。
ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610
郵便局：記号番号 01650-3-41610
口座名義はどちらも同じ
メトロ･ワールド･チャイルド･ジャパン